

## 全国学力・学習状況調査の集計分析について

今年4月に、全国の中学3年生（小学校では6年生）を対象に行われた全国学力・学習状況調査の集結果計が学校に届きました。

この集計結果からの分析について、以下のようにまとめましたのでご一読ください。

### 今年度調査の概要

◇教科に関する調査(国語・数学・理科)

A 主として「知識」に関する問題 , B 主として「活用」に関する問題

◇生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

### <本校の教科についての結果分析・概要>

◎全国比・京都府比ともに、国語・数学・理科の3教科とも概ね良好な結果である。

□国語に関して

- ・A 主として「知識」に関する問題については高い正答率を得ている。
- ・話す力・聞く力・書く力は、満足できる力が身につけている。
- ・無答率も低い結果であり良好である。
- ・しかし、資料の読み取りについては、やや課題が残る。

□数学に関して

- ・数量・図形などについての知識・理解は十分できている。しかし、数学的な見方・考え方については、厳しい状況である。(この点については、全国的な傾向で、他の国際調査(PISA等)においても見られる日本の課題といえる)

□理科に関して

- ・B 主として「活用」に関する問題の結果が、全国的に芳しくない。本校においても同様の傾向であった。特に、記述式の問題については大きな課題がある。また、一部領域においても無答状況に課題が残った。

□全体として

- ・問題の傾向そのものが、A問題とB問題の明確な区分けがされているというより、資料の読み取りや観察・実験を通じた考察において生かされる知識が問われている。本校においては、引き続いて、「教えて考えさせる」という指導の在り方を大切にしながら、各単元・領域の弱かった部分を補いながら指導を進める必要がある。
- ・大きくは新しい学力観にも通ずる「思考・判断を通じた表現」やそれらの基礎となる「知識や技能」の修得においても課題が見えている。
- ・一方で、普段の学習(授業)における生徒の姿勢は、この2年間で大きく好転しているのも事実である。そのことを鑑みても尚更、学びの質の転換が求められている。

裏面につづく

## ＜本校の生活習慣や学校環境に関する質問についての結果分析・概要＞

- ・「朝食を食べない」「起床が遅い」「就寝が遅い」生徒の割合が多く、「早寝・早起き・朝ご飯」の生活習慣が崩れてきている生徒が多い。
- ・全国平均と比べ、平日・休日とも家庭学習の時間が短い。特に、休日に全く勉強しない生徒が6割近く（全国では3割）いる。また、テレビの視聴時間、テレビゲーム・ネットをしている時間が大幅に多い。
- ・7割強が学習塾（家庭教師を含）に通っており（全国より高い）、家庭では宿題だけをしている生徒が多い。
- ・半数近くの生徒は毎日、携帯電話で通話やメールをしている（全国では3割弱）。また、半数以上の生徒は、読書を全くしていない（全国では3割強）。

家庭の中で、テレビ・ゲーム・ネットに多くの時間を使い、学習や読書をする時間が中学生として少なすぎるのが現状です。学習塾に通っていても、家庭でしっかり学習や読書をしなければ本当の学力は身につけません。

- ・家族と学校の出来事について話す生徒は7割を超えている。
- ・携帯電話の使用方法について家族と約束し、守っている生徒も全国と比較すると多い。
- ・学校の規則・友だちとの約束は9割以上の生徒が守れている。
- ・9割強の生徒が近所の人に会ったとき挨拶をしている（全国は8割強）。また、地域の行事に参加している生徒も全国と比べ大幅に多い。

不安視されている規範意識の低下の現状はありません。本校においては、家族とのつながりが強い生徒が多く、地域社会との関係も保たれています。このことは規範意識の構築の大きな影響を与えていると思われます。

- ・9割強の生徒が、いじめはどんな理由があってもいけないと思っている（全国より高い）。
- ・8割近くの生徒は、「人の気持ちの分かる人間になりたい」、「人の役に立つ人間になりたい」と強く思っている（全国より高い）。

人の気持ちを理解し、いじめを許さない土壌はできています。その土壌がある中で、社会に役立つ人になりたいと考える生徒が多いという結果は、先行きが見えず停滞する現在において、希望あふれる明るい材料です。

## — 保護者の皆様方へのお願い —

本調査から学校の指導の在り方や方向性への課題も見えています。私たちは指導改善に向けてさまざまな見直しと取組を進めていく所存です。しかし、教育の第一義は家庭教育であります。今一度、各家庭におかれましても、お子達の学習状況や生活状況に目を配っていただき、一つでも多くの改善点を見つけていただければと思います。

家庭と学校が協力しあいながら、生徒が少しでもより良く成長することを願ってやみません。

今回は調査の概要についてお知らせしておりますが、大切なのは普段の生活や、学習の在り方です。本校独自の「きらめき手帳」を有効に使っていただきながら、お子達との会話をさらに豊かにしていただければ幸いです。